EBウイルス関連T/NKリンパ増殖性疾患　（いわゆる慢性活動性EBウイルス感染症）

診断チェックシート

ステップ１. こんな症状はありませんか？あてはまる項目にチェックを入れてください。

□原因不明の発熱（＞37.5℃）が、3か月以上続く、もしくは繰り返す。

□首のリンパ節がずっと腫れている。

□蚊や虫に刺された後が水膨れになり、全身の発熱（＞37.5℃）を伴う。

□顔や手足の日光が当たる部位に繰り返し水膨れができる。

ステップ2. ステップ１のひとつでも当てはまった場合、主治医の先生にこのシートをお見せし、EBウイルス抗体検査をしていただけないか、相談してみてください。

□抗VCA-IgG抗体

（抗EA-IgG抗体、抗VCA-IgM抗体、抗EBNA抗体も参考になります）

ステップ3. 　ステップ2で、抗体が陽性であった場合

主治医の先生にこのシートをお見せし、末梢血EBウイルスDNA量を測定していただけないか、相談してみてください。

DNA量が1000コピー (単位はコピー/μgDNA, コピー/106 cells, コピー/mlのいずれでも)　以上であった場合、EBウイルス関連T/NKリンパ増殖性疾患　（いわゆる慢性活動性EBウイルス感染症）のうたがいがあります。

主治医の先生に、血液内科医（お子様の場合は小児がんの専門家）への紹介を相談してみてください。

厚生労働省　難治性疾患等克服研究事業（難治性疾患克服研究事業）

「慢性活動性EBウイルス感染症の発症機構解明と新規治療法開発に関する研究」研究班　平成25年11月　作成